

カンボジアの産業発展を支える新潟・燕三条の“ものづくりスピリット”

国際協力機構（JICA）は、8月29日、トップ工業株式会社と「カンボジア国燕三条ブランド工具の普及・実証事業」にかかる業務委託契約を締結しました。本契約は、我が国の中小企業を対象に、JICAが本年度より開始した「民間提案型普及・実証事業」として実施されるものです。

カンボジアでは近年日系企業をはじめとする海外直接投資の増加に伴い、産業人材の確保・育成ニーズは高まっているものの、過去の内戦の影響により企業の要求水準に見合う技術を身につけた人材が不足しています。結果、進出企業のスムーズな現地生産体制立ち上げやコスト競争力を阻害する要因となっており、産業人材を育成する教育・職業訓練機関における指導員の能力向上や機材の整備等、教育訓練内容の改善が求められています。

今回契約した事業では、カンボジア国内の職業訓練校及びカンボジア工科大学等において、最先端の技術・ノウハウで世界トップレベルの品質を有する汎用性の高い作業工具セットを用いて、ものづくりに関する技術研修を実施します。その結果、カンボジアの教育・職業訓練機関による産業人材育成に寄与し、同国への進出企業の増加や地場産業振興への貢献に資することを目的としています。

今回受注したトップ工業株式会社はカンボジア国内における燕三条ブランド工具の認知度向上を図り、カンボジア進出企業へのニーズ拡大も視野に入れた代理店開拓・販売営業体制の構築を長期的な目的としたビジョンに基づき、JICAの民間提案型普及・実証事業に応募し、今回契約に至ったものです。「民間提案型普及・実証事業」は、我が国の中小企業等の製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、その現地での適合性を高め、普及を図ることを目的としたもので、平成25年5月に第一回の公示を行いました。JICAは、開発途上国の開発ニーズや課題の解決に資する技術を有するトップ工業株式会社と連携し、同社の技術の普及を通じ、開発途上国の課題解決に貢献していきます。